

令和3年「大崎耕土」アカトンボ見つけ隊

なぜアカトンボなのか？

アカトンボ（＝アカネ属 *Sympetrum* のトンボ）は何種類かいて、最も代表的な種がアキアカネです。～夕焼け小焼けのアカトンボ～ など昔から親しまれてきた種にもかかわらず、最近は見かける数も減ってきています。これは農薬の影響が強く疑われていて、農業生産と生物多様性の両立を図る上で、とても注目されています。

そして、その暮らしぶりも謎めいています。春、田んぼに水が入ると卵が孵化し、ヤゴが成長します。水温の上昇とともに爆発的に増えるミジンコなどを食べて、田んぼの中干しの頃羽化して大空へ飛び立ちます。アカトンボは夏の暑さが苦手で、アキアカネははるばる山の上まで避暑にでかけます。そして、秋風とともに里へ戻ってきて卵を産み、一生を終えるのです。

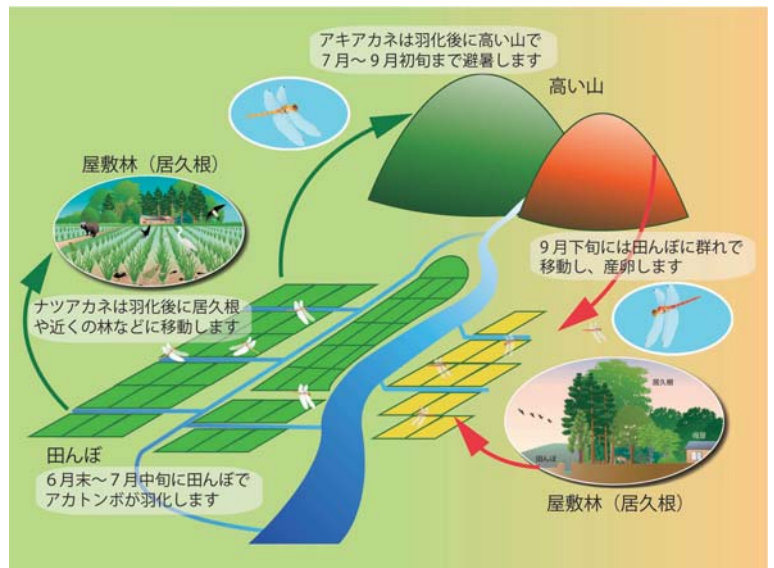
こうした生活をしていることが知られていますが、大崎の平野部で生まれたアキアカネがどの山で避暑するのか？、山から下りてきたら元の場所に戻るのか？ 具体的なことはまったくわかっていません。もしかしたら、もっと遠くの山へ行ってしまうのかもしれない！ 専門家も知らないアキアカネの暮らしを大崎耕土の市民パワーで解明してみよう！ というのが今回の調査のねらいです。

調べる方法

動物の行動を調べる最も確実な方法は、24時間同じ個体を追いつけることですが、とても現実的ではありません。そこで、1匹ずつ印をつけて区別がつくようにして、再び捕まえる方法で行います。鳥では昔からバンディング（番号が刻印された足環をつける）方法が国際的に行われています。

アカトンボ見つけ隊では、翅に番号を書いて放し、別の場所で再会することを目指します。

- ①捕虫網で捕獲
- ②捕獲した個体の記録（場所・日付・調査者・種名・雌雄など）
- ③番号の書き込み（翅に通し番号を書く・記録票にも番号を記入する）
- ④放虫



調べる時期

- ①初夏：羽化したアカトンボ（平野部）
- ②盛夏：避暑中のアキアカネ（山間部）
- ③秋：産卵のために帰って来たアカトンボ（平野部）

番号の付け方

調査者のイニシャル＋001から始まる通し番号を付けます。イニシャルは重複しないよう、あらかじめ参加申込をし、事務局から通し番号（アルファベット）をもらってください。

相談や調べた結果の報告

実際に調べ始めると疑問がわいてくるものです。そんな時は遠慮無く下記までご相談ください。

調査結果の報告もお願いします。

〒989-6188

宮城県大崎市古川七日町1-1

大崎市産業経済部世界農業遺産推進課

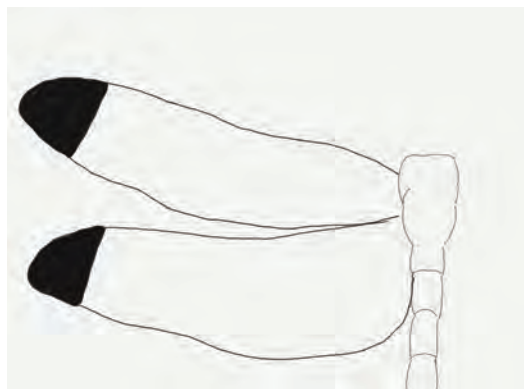
自然共生推進担当

TEL：0229-23-2281

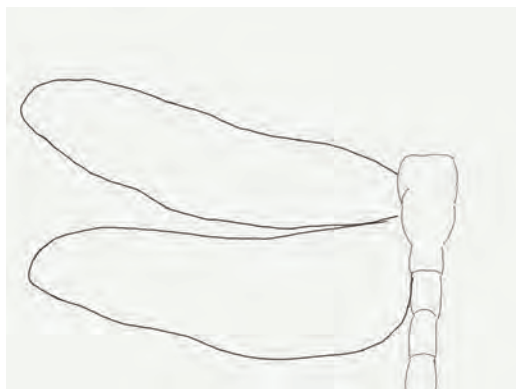
E-mail：osaki-giahs@city.osaki.miyagi.jp

アカトンボ 3 しゅるいの見 分け方

1. はねの先のもようを見る



茶色いもようがある



茶色いもようがない



ノシメトンボ

2. 胸のもようを見る

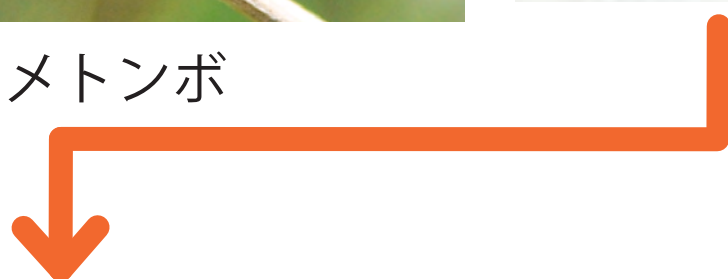
3本の黒い線の内、真ん中の線を観察する。



先が角ばっている



先が尖っている



ナツアカネ



アキアカネ